



発行・カトリック水巻教会
 編集・広報委員会
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
 〒807-0025
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
 第376号

地区の再編成について

信徒会長 田中 拓

今年の信徒総会にて、地区の再編成を検討してほしいとの要望が出され、小教区委員会にて議論をしていくこととなりました。各地区に30～50世帯が所属していますが、高齢化が進むにつれ、教会に足を運ぶ人が減り、実際にミサに預かっているのは5世帯前後という地区もあるのが現実です。

小教区祭の催しなど、地区割りでの活動が地区によっては厳しくなっており、これが地区再編成の要望につながっていると思います。総会では、高齢者の送迎を考えてほしいと要望も出されました。

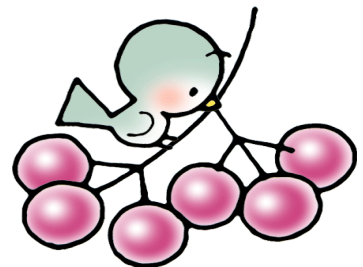
世の中では高齢者の孤独死といったことも問題になっています。水巻教会ではキリストフォールという病人等の訪問活動も行っていますが、家族からの要望を受けての活動であり、高齢者だけの家庭や、未信者の方が多い家庭への訪問は行き届いていない可能性も否定できません。こういう中で、信徒同士で支え合っていくことが大切です。ご近所同士の見守り、すなわち地区の中での助け合いが基本になってくると思います。

地区を合併し、活動できる人数を確保することにより、地区の活動が活発化することが期待できます。

一方で、水巻小教区はかなり広い地域に渡っており、地区を合併するとかえって目が行き届きにくくなるというデメリットも考えられます。

地区の再編成が水巻小教区の活動の活性化につながらなければ意味がありません。地区役員は小教区委員会のメンバーであり、信徒の意見を教会全体の活動に反映していく役目もあります。

再編成する目的を見失わず、活発な議論を重ね、いい方向性を見出すことができるよう願っています。皆様もいろんな意見をお寄せください。



誉れは相手に、非は自分に・・・	2・3面
敬老お祝い会・・・・・・・・・・	3面
委員会報告・・・・・・・・・・	4・5面
スーパーボランティア・・・・・・・・	5面
幼稚園から・・・・・・・・・・	6面
教会学校より・・・・・・・・・・	7面
お知らせ・・・・・・・・・・	8面

「誉れは相手に、非は自分に」 李神父

日本の暑い夏を彩るスポーツと言えば、甲子園の高校野球大会だ。日本中の高校野球チームが各地で予選をして、各県の代表になり、そして最後に一校が優勝する。

私が大変興味深く感じるのは、この優勝の一校を除いて、みんな負けを体験するということだ。みんな、挫折をしなければならない。これは人生が始まりかけた高校生にとり、とても貴重で大事な体験だ。なぜなら、人生とはそもそも、どんなに努力しても、思い通りにならない部分があるからだ。挫折することで、人間は自分の限界を知り、謙虚に生きる姿勢を学ぶのである。

さて、先日テレビをつけると偶然、試合終了後の場面が映った。岩手県代表の花巻東が勝ち、今大会屈指のピッチャーとされている菊池選手の報道関係者によるインタビューのところだった。勝利の功労者菊池選手に記者たちが質問した。

「勝って、今どういう感じていますか」
すると非常に感動的な答えを彼はした。

「相手のチームは何度も対戦して、負けてきた相手です。だから実力は相手の方が明らかに上です。しかし今回勝って、少しは相手チームに近づけたかなと思います」

この謙虚さ。普通、高校生なのだから、もっと大口叩いてもいいだろう。「相手のここが弱点でした」とか、「我々は一生懸命やってきたから勝てたんです」とか、いろいろ言ってもいいはずだ。(2009年度のこと)

勝ったけれども相手を誉め讃えている。相手に誉れを与えている。勝っても高ぶら

ない彼の発言を聞いて、私は昔聞いたある言葉を思い出した。

「誉れは相手に、非は自分に」私たちはふだん反対だ。なにか良い事があるとすぐ自慢して、誉れを自分に帰する。そしてなにか非があると、さかんに他人のせいにしがちだ。誉れは自分に非は相手に、だ。その証拠に衆議院選挙の党首会談では、互いに正しいのは自分の党とやりあっている。これが人間の悲しい現実、われわれ罪人の現実だ。

ヨハネ福音書11章は、死んだラザロを復活させたイエス様の出来事が伝えられている。ベタニアにマルタとマリアという姉妹が住んでいた。イエス様を心から尊敬するこの姉妹の願いにこたえ、主は死んだばかりの弟ラザロのところにやって来る。

そして死んで四日も経っているから、死臭がただようと言われても、イエスはラザロの葬られている墓に案内させた。当時のお墓は洞穴で、入り口に大きな石が封印として置かれている。イエスは、まわりの者に石を取りのけさせ、そして仰った。

「ラザロ、出て来なさい」

するとそこに夢の様な光景が実現する。死んだラザロが墓から歩いて出て来たのである。この時、イエスはどうしただろう？

「父よ、わたしの願いを聞き入れてくださって、感謝します」(ヨハネ11・41)

ご自分がラザロを蘇らせたのに、まず、父なる神様に誉れを帰し、感謝している。おのれの手柄としないで、誉れは御父に捧げているのである。

ミサ中私たちは、主がお教え下さった「主の祈り」をご一緒に唱えている。その直前に、こういう祈りをご一緒に捧げている。

「キリストによって、キリストとともに、キリストのうちに、聖霊の交わりの中で、全能の神、父であるあなたに、すべての誉れと栄光は、世々に至るまで。アーメン」

御父に対する誉れを、栄光を、我々も讃えているのである。

我々の日常はとかく、「誉れは私に、非は相手に」なりがちだ。そうではなく、まず、なによりも我々は、誉れをことごとく天の御父に、そしてまわりの方々に捧げていきたい。



敬老お祝い会

9月16日ミサ後、「敬老のお祝い会」が開かれました。この日来られた75歳以上の対象者は38人。

この日は十数人のお手伝いの方が、早くから料理作りに精を出していただきました。チラシ寿司に、サンドイッチ、唐揚げ、蒸し豚、フルーツポンチなど腕を振るい、楽しくいただきました。

余興には、中間地区の秦野道子さんが「オカリナ」を演奏してくださいました。演目は「虫の声」「アメージング・グレース」「青い山脈」「喜びも悲しみも幾年月」「主に愛されて」の五曲で馴染み深い曲ばかり。秦野道子さんの巧みな演奏とオカリナの美しい音に敬老の方たちも大満足の様子でした。



「聖母幼稚園・マリア子供の家」からは、「伊万里の聖母修道会」手作りのクッキーの詰め合わせがこの日集まった敬老の方たちに贈られました。



委員会等報告

2018年9月分

9月度小教区委員会 9月2日

1. 行事予定

- ・10月7日(日) 小教区委員会
- ・10月8日(月) レクリエーション大会
(新田原グラウンド)
- ・10月14日(日) 大人の日曜学校
- ・10月20日(土) 役員会
- ・10月21日(日) 聖堂ワックスがけ
- ・11月1日(木) 諸聖人ミサ
9:30~、19:30~
- ・11月2日(金) 死者の日ミサ
9:30~、19:30~
- ・11月3日(土) 神学院祭
- ・11月4日(日) 小教区委員会

2. 議事

(1)各委員会報告

①クリストフォールより

9月は青木神父様に代行して訪問して頂きました。

②冠婚葬祭より

各地区の冠婚葬祭の会代表を決めました。連絡やお手伝いをお願いします。

赤間：橋本富美 芦屋：常定宏子
梅ノ木：依康子 海老津：岡部和子
折尾：大原愛子 遠賀：松尾隆 中間：
高須青葉：大塚孝 吉田：浅田一郎

(2)その他

①地震保険について

現在、カリスの火災保険に加入しています。日本国内の至る所で地震が発生しており、水巻も地震が来ないとは言い切れませ

ん。カリスを含む3社から見積をとったところ、カリスの保険料が最も安かったことから、カリスの地震特約に加入することとしました。保険料は火災保険 143,010円 地震保険 171,110円 併せて314,120円/年となります。

②駐車場の利用について

近隣住民より、保育園送迎の一部の母親によるものだが「急停車、急発進による駐車場の砂埃が酷い。」との苦情があったそうです。教会としても以下に注意して駐車するようお願いします。

- ・北側駐車場を優先して駐車する
- ・住居から遠い所から駐車する
- ・エンジンをかけ放しにしない

③小教区の集い(11月18日)

11月には小教区の集い(バザー)を計画しています。ご協力をお願いします。

3. 大人の日曜学校について

「福者ディエゴ加賀山隼人の殉教400年祭に向けて」

来年はディエゴ加賀山隼人の殉教400周年にあたります。加賀山隼人は1619年10月15日に小倉で殉教しました。隼人の弟、加賀山半左衛門とその息子ディエゴも同日、日出で殉教しています。また隼人の娘、小笠原みやとそその一族15名が16年後に熊本・花岡山で殉教しています。仲間同士で互いに励まし合い、支え合った

からこそ信仰を貫き通すことができたのだと思います。彼らの信仰を受け継ぐものとして来年10月14日に殉教400年祭を執り行うこととなりました。この記念祭に向けて、郷土の殉教者の生きた道について理解を深め、祈りを重ねながら水巻教会と



スーパーボランティア 広報 山口 一隆

今年も大規模災害が、発生しました。広島、岡山を中心とした「西日本豪雨」、それと北海道に起きた「北海道胆振東部地震」です。災害の規模からいって熊本地震と、九州北部豪雨クラスの災害が2ヶ月ほどの短期間に続いて起きたようなもので、被害にあわれた方々の苦勞が忍ばれます。復興には、多くのボランティアの支援が必要となりましょう。

そんな中でボランティアにヒーローが現れました。

山口県周防大島で起こった2歳児の行方不明事件で、これまで関わった経験をもとに見事2歳児を発見した尾畠春夫さんの登場です。この件以前からその旺盛な活動ぶり、被害者に対する感慨深い配慮からスーパーボランティアといわれていた方です。

余談ながら、私たちメンバーも熊本でお目にかかった事があります。とはいえ、その時は、「はっきりこの人が…」と確認したわけではなく「そんな方がおられるんだ…」くらいの認識でした。テレビで、尾畠さんのインタビューを聞いたとき、あの明瞭な少し甲高い声で「聞き覚えのある声」を確認。併せてあの赤い作業着を着た姿も思い出しました。その後は、毎日テレビで見かけない日はない

して準備していきたいと思います。

そこで、来年の記念祭への準備を中心になって進めておられる深堀神父様(湯川教会)をお招きし、10月14日の「大人の日曜学校」で、加賀山隼人について講演いただくこととしました。ぜひ、ご参加ください。

ほどでしたが、今ちょっと一服。あの方のことですから、そのほうがかえってほっとしているのかもしれませんが。

尾畠さんの登場は、ボランティアの活動がどうあるべきなのかを考えさせました。被災者に対する考え方。ボランティアの姿勢等々。

・「ボランティアをやらせていただいている姿勢が大切」・「被災者に迷惑にならないように」・「被災者からは、食べ物、飲み物は一切いただかない」・「被災者がボランティアに気を遣わせることは一切ご法度」など、ボランティアが気を付けなければならない言葉に満ち満ちていました。テレビを見ていた人たちは、ボランティアがどのような姿勢で、被災地に臨まなければいけないかを聞き、改めてボランティアの重要性に気が付いたと思います。「活動する広告塔」といってもいいと思います。本当にありがとう、尾畑さん。

十月に入ると熊本西原村の「白糸の滝」近くで六月植えた稲の刈り取りが行われます。ご存知の通り、収益は熊本の被災者たちのために使われます。稲刈りの参加はボランティアです。皆さんもボランティア活動の手始めに稲刈りに参加してみませんか。きっといい汗、かけると思います。参加者大募集。



水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 10月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

<水巻聖母幼稚園>

2学期が始まり、子ども達は毎日運動会の練習に取り組んでいます。

先日は折尾警察署の方が来園されて、「交通安全教室」が行われました。間近でパトカーを見学出来て、大興奮の子ども達。横断歩道の渡り方や、信号機についてお話しをして頂き、交通ルールについても学びました。

【2019年度 入園説明会】

・日 時：10月10日(月) 10:30~11:30

・場 所：水巻聖母幼稚園 2階ホール

準備の都合上、事前にお電話を頂けると幸いです。

【大運動会】

・日 時：10月6日(土) 8:30~昼まで

・場 所：水巻聖母幼稚園 2階ホール

未就園児の競技「かわいいおともだち」もあります。是非ご参加下さい。

TEL : 093 201 9559

e-mail: contactus@mizumakiseibo.ed.jp



<マリア子どもの家>

過ごし易い気温になり、マリア子どもの家の子供達も、外遊びを再開しました。

園庭で、お友達とたくさん走ったり、遊具の昇り降りをしたり、十分に体を動かしていきたいと思っています。

マリア子どもの家の畑に、秋野菜の人参とブロッコリーの種を蒔きました。芽が出るのが楽しみです。実りの季節に感謝しつつ、子供達と、豊かな秋を感じながら活動していきたいと思っています。



マリア子どもの家 TEL : 050 5212 7759

HP: 水巻町マリア子どもの家

水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 シスター松川明子

教職員 一同



教会学校のページ

9月9日

出席者 樽角樹祈さん 樽角友祈さん 久保喜^{きらく}楽さん 久保ひよりさん 4名

今回は八幡西区八枝小学校に通う、喜楽君(小3)・ひよりちゃん(小1)兄妹のお二人も参加してくれました。

最初に樹祈君が今日の福音、マルコ7章31節～37節を音読してくれました。そして冊子こじかの林正人司祭の解説を読みました。普通「開く」と言えば「ドア」などを思い浮かべますがイエス様が「エッフアタ」と言って開いたのは人間の口と耳です。イエス様は心のドアにも入ってきてくれ「エッフアタ」で開かないドアはないということ学びました。聖書とは神様の言葉が書かれている本。イエス様は何でもしてくれる方ということも学びました。神様はいつから、存在しているの?という素直な問いもあり、地球ができる前からだともお話ししました。最後に主の祈りを唱えました。

新しい初めてのお友達を迎えることができとても嬉しい二学期の始まりでした。喜楽くんも、ひよりちゃんも、教会について不思議に思うことや疑問に思うことがたくさんあると思います。これから、少しずつ一緒に楽しくお勉強していけたらいいですね。

また今回は、岡部茂敏さんにも教会学校お勉強のお手伝いをしていただきました。パワフルで素直な子どもたちを前に緊張されたとのことですが、ご協力本当にありがとうございました。



10月のおしらせ

★10月はロザリオの月★

10月はロザリオの月です。ミサの前、午前9時からロザリオを一連、唱えます。

皆さんの参加をお願いします。

★北九州信徒教レクリエーション大会★

日 時：10月8日(月) 体育の日
9時30分～15時

場 所：新田原グランド

たくさんの方の参加をお待ちしています。参加される方は聖堂後ろの用紙に名前をご記入ください。詳しい内容は、その用紙に書いてありますので、ご覧ください。

★大人の日曜学校★

日 時：10月14日(日) ミサ後

場 所：水巻教会

講 師：深堀神父様(湯川教会)

「福者ディエゴ加賀山隼人の殉教 400年祭に向けて」というテーマで、話をさせていただきます。

★ホームレス支援より★

8月24日ホームレス炊き出し支援のため弁当作りに十数人の方々が集っていただきました。ご協力ありがとうございました。120食を作り、おいしく食べていただきました。またこれ以前に献米、おかずの寄付をお願いしたところ多数の方からご協力をいただきました。このため炊き出し支援団体「抱樸」から預かっていた2万4000円のうち1万1010円が余りましたので「抱樸」に寄付いたしましたことを報告します。(橋本富美)

★教会聖堂のワックス掛け★

日 時：10月21日(日) ミサ後
作業しやすい服装でおいでください。

★特別寄付★

次の方よりご寄付をいただきました。

赤間地区 松畑様

ありがとうございました。

★アンケートについて★

「からしだね」9月号でお知らせしていました、アンケート配布の件ですが、配布を一ヶ月遅らし11月号で配布させいただく事としました。

アンケート文案を、小教区委員会で検討していただくつもりでしたが、当日葬儀と重なり十分な討議が出来ませんでした。原案通りで、アンケートを配布してもよかったのですが、準備不足もあって内容に自信がなく、「拙速」を戒めました。

10月7日に開かれる「小教区委員会」で委員の皆さんのお知恵を借りたいうえで、内容を検討したいと思います。

準備不足での「アンケート配布案内」の掲載を反省しています。

お詫びとともに、再度アンケートのご協力をお願い致します。

人-ひと

【帰天】安らかに

◇ 8月31日

マリア 真浦 きみ子さん

(海老津地区)